



会津みさと 議会だより

令和8年
定例会
3月会議



**安全と安心を守る
犯罪抑止の強化!!**

Check!

- P 4～7 令和8年度の議会注目事業
- P 8～9 議員それぞれの注目事業
- P 12 旧本郷第一小学校跡地公園整備計画について提言
- P 13 議会だよりが全国コンクールで奨励賞受賞
- P 26 議会だよりモニターメンバー紹介
- P 27 今年も開催ミサトーク!!

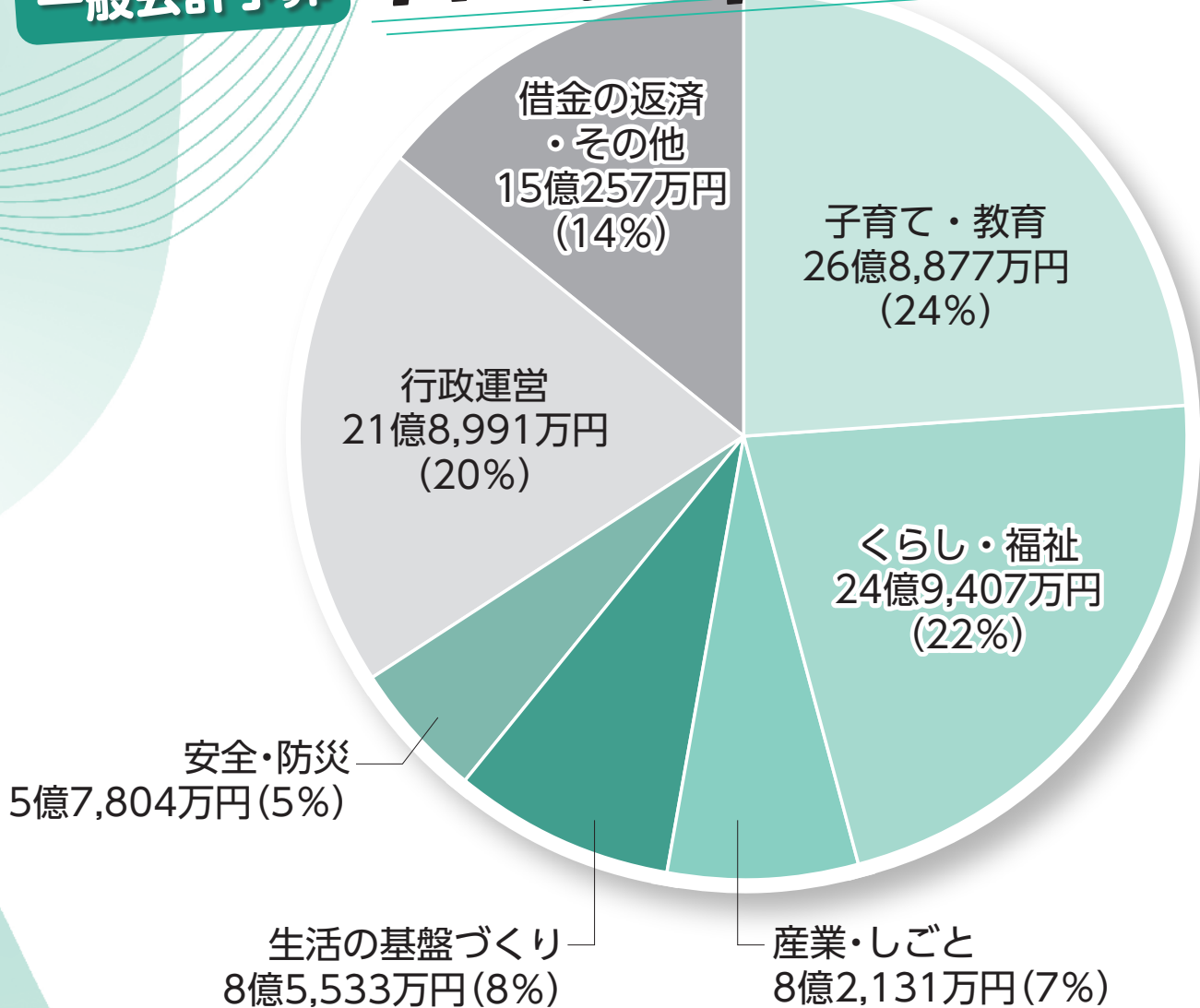


今年度の町の予算

あなたの暮らしのために使われています!

令和8年度
一般会計予算

111億3,000万円



暮らしを支え、
未来を育てる!

杉山純一町長

令和8年度は、暮らしを支える環境整備と子育て支援に重点を置いた予算としました。子どもたちの育ちを支え、子育てしやすく、高齢者にもやさしいまちづくりを進め、地域特性に応じた施策を展開します。また、新たな総合計画のもと、地域づくりセンターを核に職員が地域に入り、課題の把握と解決に取り組む体制を強化します。目に見えにくい課題にも丁寧に向き合い、「住んでよかった」と実感できるまちの実現を目指します。

どこにどれだけ使う？

町の一般会計予算は、大きく2つに分けて考えることができます。

ひとつは、福祉や教育、まちづくりなど、**私たちの暮らしに使うお金**。

もうひとつは、役場の運営や借入金の返済など、**町を支えるために必要なお金**です。

[私たちの暮らしに使うお金]

- ・子育て・教育 : 学校や子育て支援など
- ・暮らし・福祉 : 高齢者・医療・生活支援など
- ・産業・しごと : 農業・商業・観光の振興など
- ・生活の基盤づくり : 道路・公園・インフラ整備など
- ・安全・防災 : 消防・防災・災害対応など

[町を支えるために必要なお金]

- ・行政運営 : 役場の運営や各種手続きなど
- ・借金の返済・その他 : 借入金の返済や予備費など



私たちの暮らしに使うお金ランキング

順位	カテゴリー	予算額	前年比
第1位	子育て・教育	26億8,877万円	7億3,659万円減*
第2位	暮らし・福祉	24億9,407万円	2,060万円増
第3位	生活の基盤づくり	8億5,533万円	7,566万円増
第4位	産業・しごと	8億2,131万円	6,110万円減
第5位	安全・防災	5億7,804万円	1,166万円増
	合計	74億3,752万円	6億8,977万円減

町の予算の多くは、私たちの暮らしを豊かにするために使われています。
なかでも、福祉や子育て・教育に力を入れていることが分かります。

町民1人あたり
約**437**万円 (月あたり約**36**万円)

※税負担額ではありません

※前年度は施設整備や施設解体により予算が多くなりました

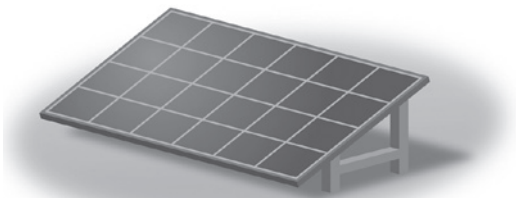
くらし
福祉

環境にも家計にもやさしい暮らしへ！
省エネ・再エネ導入を支援

生活環境保全事業 **1,061万6千円**

主な支出内訳

- ・修繕料…………… 37万円
- ・支障木撤去委託料…………… 34万7千円
- ・地球温暖化対策推進事業補助金…975万円



狙いはここ！所管課 Voice

カーボンニュートラル実現に向け、省エネ機器や太陽光発電、蓄電池の導入を支援し、環境にやさしい暮らしを、みなさんと一緒に広げていきます。また、害虫対策などにも取り組み、毎日を安心して過ごせる環境を守ります。

所管課；町民税務課

議員's スコープ

- Q 補助金は誰に、どのような取り組みに対して支給されるのか？
- A 町民を対象に、太陽光発電や蓄電池の設置、省エネ性能の高いエアコンや給湯器への買い替えなど、再エネ・省エネ設備の導入を支援します。

地域で支え合い、安心して暮らせるまちへ！
主要3地域に地域づくりセンターを創設

地域づくり推進事業 **980万6千円**

主な支出内訳

- ・地域づくりサポーター報償…………… 168万円
- ・地域活動スタートアップ応援事業補助金…………… 30万円
- ・文化祭補助金…………… 115万円

狙いはここ！所管課 Voice

これまで各地域で行われてきた生涯学習を中心とした活動を、地域のニーズや実情に応じて見直しながら、より多面的で、地域住民が主体となる地域づくり活動へと広げていきます。

所管課；まちづくり政策課

議員's スコープ

- Q 地域づくりセンターはどのように進めていくのか？
- A 3地域それぞれに地域づくりセンターを設け、地域づくりコーディネーターを配置し、地域の声を聞きながらこれまで以上に地域に寄り添った活動を展開していきます。



子育て教育

こども一人一人を大切にした教育の推進！ 教育研究事業 2,427万円



主な支出内訳

- ・ システム使用料……………360万4千円
- ・ 学校図書館支援員委託料……………688万6千円
- ・ 英語検定料補助金……………130万5千円

狙いはここ！所管課 Voice

一人一人の学力を伸ばすため、言語能力の育成や認知機能のトレーニングを通じた学びの基礎力の育成に努めます。また、学校での困りごとや変化にいち早く気づき、一人一人への適切な支援を行います。

所管課；こども教育課

議員's スコープ

- Q** 一人一人への支援をどのように行うのか？
- A** 「心の健康観察アプリ」と「YOSSシステム※」の活用により、データとAIを活用して支援が必要な児童生徒を見つけ、組織的な支援を行います。また、家庭への支援が必要な場合は、こども教育課と健康ふくし課が連携して行政サービスや地域サービスにつなげます。

毎日安心して食べられる給食を届ける！ 小学校の給食費無償化へ 給食センター管理運営事業 2億5,059万3千円



主な支出内訳

- ・ 賄材料費……………9,540万6千円
- ・ 放射性物質検査業務委託料……………206万2千円
- ・ 調理・運搬業務委託料……………1億5万6千円

狙いはここ！所管課 Voice

給食の調理や配送、施設の管理をしっかり行い、子どもたちに安全・安心な給食を毎日届けます。また、小学校の給食費を無償化し、子育て世帯の負担軽減につなげます。

所管課；学校給食センター

議員's スコープ

- Q** 給食は安全に提供するだけでなく、食育の面でも十分な取り組みがされているのか？
- A** 地元農家や事業者から食材を直接仕入れるなど地産地消を進めており、旬のおいしさを味わえる給食の提供に努めています。
- さらに、郷土料理やさまざまなメニューを工夫することにより、子どもたちの食の経験を広げ郷土愛を育む取り組みを行っています。



農作物を守る対策を強化！
被害に強い地域づくりへ

有害鳥獣防除事業 1,601万6千円

主な支出内訳

- ・ 狩猟者支援事業補助金……………60万4千円
- ・ 有害鳥獣防除事業補助金……………200万円
- ・ ツキノワグマ被害防止地域づくり事業補助金……………250万円



狙いはここ！所管課 Voice

電気柵の設置支援や有害鳥獣捕獲従事者増加のための取り組みを進め、農作物等被害を減らします。また、地域のみなさんが協力して有害鳥獣対策へ取り組めるよう支援します。

所管課；農林振興課

議員's スコープ

- Q** 電気柵や捕獲以外の対策は行わないのか？
- A** 専門家を地域に派遣し、環境整備や被害防止など、それぞれの地域に合った対策を進めます。

まちに賑わいを生み出す！
公民館跡地を活用し交流を広げる

商工活性化事業 3,730万3千円



主な支出内訳

- ・ 施設整備工事……………507万円
- ・ 商工業活性化対策等振興事業補助金……………1,395万円
- ・ 観光物産プロモーション業務委託料……………154万円

狙いはここ！所管課 Voice

旧会津美里公民館跡地を活用し、イベント開催などを通じて交流の機会を広げます。地域のみなさんと一緒に、楽しく活気のあるまちづくりを進めます。

所管課；にぎわい創造課

議員's スコープ

- Q** 旧公民館跡地はどのように活用するのか？
- A** 敷地の一部を開放し、遊具の設置やイベント開催を行うなど、親子で安心して楽しめる場として活用していきます。





安心して使える公園に！
公園の環境整備とあやめ苑の管理を充実
公園管理事業 5,757万3千円



主な支出内訳

- ・修繕料……………490万2千円
- ・公園管理委託料……………4,171万7千円
- ・維持改修工事……………451万2千円

狙いはここ！所管課 Voice

町民に快適に過ごしていただけるよう、都市公園や街なみ公園等の環境の整備と維持管理を行います。特にあやめ苑では、計画に基づいたあやめの栽培管理を行い、良好な景観の維持につなげます。

所管課；建設水道課

議員's スコープ

- Q** あやめ苑の施設環境整備とは具体的に何を行うのか？
- A** 北側駐車場の通路の砂利部分をコンクリート舗装し、歩きやすく安全に利用できる環境を整えます。



災害に強いまちをつくる！
ハザードマップ更新と地域防災を強化
災害対策事業 1,548万円



主な支出内訳

- ・ハザードマップ作成業務委託料……………1,215万5千円
- ・総合情報通信ネットワーク負担金…129万円
- ・自主防災組織設立支援事業補助金…65万円

狙いはここ！所管課 Voice

新たな浸水想定区域の追加に対応し、ハザードマップを更新・配付します。また、自主防災組織の活動を支援し、地域で助け合える防災の取り組みを進めます。

所管課；総務課

議員's スコープ

- Q** 全戸配付だけでなく、説明の機会はあるのか？
- A** 今のところ説明会の予定はありませんが、お住まいの地域における災害発生の可能性を正しく理解して避難行動につなげていただくことが大切なため、出前講座などでわかりやすくお伝えしていきます。



令和8年度 注目事業

議員それぞれの

13の視点



あべ けんいちろう
阿部 雄一郎 議員

- ・子どもたちの学びと成長を支える教育基盤強化事業
町の持続的な発展には、幼少期からの人づくりへの投資が不可欠と考えています。不登校等の兆候把握やタブレット導入などのICT環境整備、小学校給食費無償化など、子どもたちの学びと成長を支える施策に注目しています。



ふくしま たかのり
福島 雅典 議員

- ・移住促進事業 ・新規就農者・担い手育成事業
- ・空き家利活用事業
私は移住、空き家活用、新規就農者の当事者です。これらを支える基盤として、町公式LINEの双方向化が重要であり、暮らしや防災、参加、観光、農業などの分野で円滑な情報共有とつながりの強化が不可欠と考えます。



あらかわ けいいち
荒川 佳一 議員

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
- ・介護予防事業の強化及び保健事業との連携
エネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者など、デフレ完全脱却のための総合経済対策の対応として、実情に応じて事業を実施できるよう、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の活用に注目する。



さくらい かつお
櫻井 幹夫 議員

- ・地域づくり推進事業
町が行うあらゆる活動において、1人の人が出来ることには限りがあります。社会においては人々のつながり(コミュニティ)が重要です。町が掲げる各種事業の遂行には、まずコミュニティの再構築が不可欠です。



ながみね かつや
長嶺 一也 議員

- ・生活環境保全事業 ・農業経営安定化支援事業
- ・地域づくり推進事業
合併後20年経過した現在、人口減少や少子高齢化などが深刻化しています。第4次総合計画に基づく持続可能で「ずっと住みたい」と実感できる「まちづくり」の事業展開を町民の皆さんと共に注視していきます。



こじま ひろこ
小島 裕子 議員

- ・新規就農者・担い手育成事業 ・森林環境保全事業
- ・健診事業
「豊かな自然が町の魅力！」とは移住者の声。美里らしさを磨く農業と林業の振興のために後継者育成を図る事業に期待。特定健診を予約制導入へと準備が始まる。スムーズな受診が健康増進につながって欲しい。

賛成だけで終わらない!

- ・ 児童福祉施設管理運営事業 ・ 有害鳥獣防除事業
- ・ 商工活性化事業

人口減少が進む中で安心できる子育て環境。近年の多発する有害鳥獣被害を踏まえ、将来に向けた農地の保全方法。創業意欲向上に向けた取り組み、商工業の次世代に繋げる為の支援などが必要と捉える。

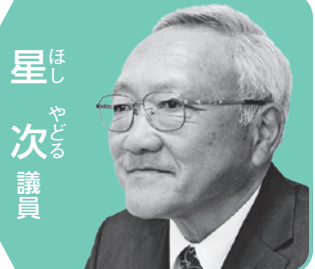
むらまつ
なおい
村松 尚
議員



- ・ 老朽管更新事業 ・ 一般介護保険予防事業
- ・ 商工活性化事業

埋設管の布設替えは早急に完了すること。
介護予防事業の強化と保健事業の連携を強力に進めること。
単発的なイベントまちなか賑わいを考えているが、年間を通した賑わいと交流人口の拡大策を考えること。

ほし
やどる
星 次
議員



- ・ 地域振興事業

地域振興事業では、町内の8つの事業所が1つの組合をつくり職員20名を採用して、地域全体の人手不足解消と、就業の安定した雇用がはかれる事業で、これから期待される事業ではないかと思う。

すずき
しげあき
鈴木 繁明
議員



- ・ 自主防災事業

推進を進めているが、現状は厳しいものがある。モデル地区を選定しながら住民との話し合いを充実させていくことが重要。区長会総会の呼びかけだけでは不十分で、住民の理解は得られない。

よこやま
ちよし
横山 知世志
議員



- ・ 日本郷第一小学校跡地公園整備計画事業
- ・ 地域おこし協力隊事業 ・ 地域づくり推進事業

高田・本郷・新鶴各地域の歴史・特性を活かした地域づくりは真の住民参画が肝要になる。人口減少が進む中、全ては長期財政運営を見据えた取り組みになることから、認識の共有を図る丁寧な行政の伴走を注視して行きたい。

ねもと
けんいち
根本 謙一
議員



- ・ 医療施設の体制確保 ・ 生活環境の整備
- ・ 観光まちづくりの推進

高田厚生病院は老若男女を問わず多くの人達が利用している医療機関である。その施設である高田厚生病院が令和8年4月を以て会津みさと診療所となること決定している。今後においても医療施設の体制確保を。

しづい
きよたか
渋井 清隆
議員



- ・ 給食センター管理運営事業
- ・ 児童福祉施設管理運営事業 ・ 商工活性化事業

小学校給食費無償化や子育て支援センターの雨漏り修繕、旧会津美里町公民館跡地でのアトラクションイベント開催。これらの取り組みが重なり、子育てしやすく選ばれる、魅力的な町づくりにつながると期待しています。

おおたけ
そう
大竹 惣
議員



令和8年定例会1月会議



議決結果を議会HP
に公開しています

上程議案・概要・結果	全賛…全員賛成で可決	結果
計画の策定		
第3期会津美里町一般廃棄物処理基本計画の策定について 令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画を定めるもの。		全賛
令和7年度会津美里町補正予算		
会津美里町一般会計補正予算（第11号） 9,929万7千円増額 普通交付税の再算定に伴う追加交付及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した支援事業等について補正するもの。		全賛
会津美里町水道事業会計補正予算（第3号） 資本的収入 5,291万5千円増額 資本的支出 8,904万8千円増額		全賛
契 約		
会津美里町役場本庁舎事務什器備品購入契約 【契約内容】 来庁舎用カウンター机等 【契約金額】 1,468万5千円 【契約の相手方】 株式会社栄町オサダ		全賛
ふれあいの森公園陸上競技場全天候舗装改造工事請負変更契約 【契約内容】 ・全天候舗装部面積能の増、内園側溝延長の増 ・標識タイルの減 【契約金額】 変更後 2億7,501万1千円 【契約の相手方】 美里建設工業株式会社		全賛

令和8年定例会3月会議

上程議案・概要・結果	全賛…全員賛成で可決	結果
報 告		※報告のため賛否はありません
専決処分の報告（損害賠償の額を定めることについて） 除雪車による自動車物損事故について、損害賠償金を支払うことで示談が成立したものの。		
専決処分の報告（解散事由に基づく選挙費に係る歳入歳出予算の補正について） 衆議院の解散に伴い、衆議院議員総選挙に係る経費について専決処分したものの。		
専決処分の報告（損害賠償の和解について） 本郷地域公共施設解体工事請負契約を解除したことについて、損害賠償金を支払うことで和解が成立したものの。		
条例の制定・改正		
会津美里町議会議政務活動費の交付に関する条例 会津美里町議会議員の調査研究等の活動に資するため、必要な経費の一部として、議員に対する政務活動費の交付に関し必要な事項を定めるため、新たに条例を定めるもの。		全賛
会津美里町議会議委員会条例の一部を改正する条例 会津美里町課設置条例の改正に伴い、総務厚生常任委員会と産業教育常任委員会の所管について改めるもの。		全賛
会津美里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 新たに創設される「子ども・子育て支援金」の徴収に係る課税額の算定等について定めるほか、国民健康保険税の課税に係る限度額等について所要の改正をするもの。		全賛
会津美里町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 道路法施行令の一部改正に伴い、所要の改正をするもの。		全賛
会津美里町営住宅管理条例の一部を改正する条例 老朽化した町営住宅の一部を用途廃止するため、所要の改正をするもの。		全賛
会津美里町立認定こども園条例の一部を改正する条例 子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度の創設に伴い、所要の改正をするもの。		全賛
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例 公益的法人等に対する職員の派遣及び研修に関し必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するもの。		全賛
会津美里町犯罪被害者支援条例 犯罪被害者支援を総合的に推進し、地域全体で被害者等の尊厳の回復と生活再建を図るため、新たに条例を制定するもの。		全賛
会津美里町中小企業・小規模企業振興基本条例 中小企業及び小規模企業の振興に関する基本理念を定め、商工会等との連携による支援体制を強化することで、事業者の持続的な発展と地域経済の向上を図るため、新たに条例を制定するもの。		全賛
会津美里町乳児等通園支援事業に関する条例 子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度の創設に伴い、運営に関する必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するもの。		全賛

計画の策定	
会津美里町過疎地域持続的発展計画の策定 過疎地域の持続的発展の基本的方針、目標及び実施すべき施策等を定める5年間の計画を定めるもの。	全賛
会津美里町まちづくり計画の変更 合併特例債の発行期限が延長されたことに伴い、本計画の期間を5年間延長するもの。	全賛
会津美里町地域公共交通計画の策定 地域の公共交通施策の基本方針並びに公共交通の維持確保、利便性の向上及び利用促進のための施策を定める5年間の計画を定めるもの。	全賛
第4期会津美里町教育振興基本計画の策定について 教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について基本的な計画を定める5年間の計画を定めるもの。	全賛
令和7年度会津美里町補正予算	
一般会計補正予算(第13号) 2,463万5千円減額 事業費の確定等により、継続費及び繰越明許費等について補正するもの。	全賛
国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 372万2千円増額 国民健康保険税収入及び事業確定見込みによる増額。	全賛
介護保険特別会計補正予算(第4号) 2,525万7千円減額 介護保険料収入及び事業確定見込みによる減額。	全賛
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 185万9千円減額 後期高齢者医療保険料収入及び事業確定見込みによる減額。	全賛
住宅用地造成事業特別会計補正予算(第1号) 769万円減額 吹上台住宅分譲地の売り払いの確定による減額。	全賛
水道事業会計補正予算(第4号) 今後の執行状況と、事業費確定見込みにより、補正するもの。	全賛
下水道事業会計補正予算(第4号) 今後の執行状況と、事業費確定見込みにより、補正するもの。	全賛
一般会計補正予算(第14号) 190万3千円減額 負担金の整理による減額。	全賛
令和8年度会津美里町予算	
一般会計 111億3,000万円	全賛
国民健康保険特別会計 22億5,502万2千円	全賛
介護保険特別会計 31億5,863万円	全賛
後期高齢者医療特別会計 3億6,188万6千円	全賛
住宅用地造成事業特別会計 1,076万4千円	全賛
水道事業会計 収益的収入 4億5,955万1千円 収益的支出 5億86万3千円 資本的収入 1億5,556万6千円 資本的支出 3億701万6千円	全賛
下水道事業会計 収益的収入 5億5,972万5千円 収益的支出 5億6,679万7千円 資本的収入 2億2,951万7千円 資本的支出 3億6,062万4千円	全賛
永井野財産区特別会計 22万円	全賛

＼ 常任委員会の所管が変わりました!! /

令和8年4月1日から町の組織機構改革に伴い常任委員会の所管が変更になりました。

■ 総務厚生常任委員会

総務課、まちづくり政策課、町民税務課、健康ふくし課、出納室、選挙管理委員会、監査委員に属する事務及びその他の常任委員会の所属に属さない事務

■ 産業教育常任委員会

にぎわい創造課、農林振興課、農業委員会、建設水道課、教育委員会の所管に関する事務

議会政策討論会を開催

令和7年11月27日、町から旧本郷第一小学校跡地の概算工事費が示されたことを受け、議会では政策討論会を開催しました。

テーマ 旧本郷第一小学校跡地公園整備計画について

論点

- 概算工事費約15億円という財政負担
- 事業の進め方、住民説明、合意形成
- 公園として跡地利用の将来性

議会では、「旧本郷第一小学校跡地再整備計画」について、公園整備に加え、こども園と子育て支援センターを一体的に整備する計画を、おおむね良いものと判断しました。

検討にあたっては、町民懇談会などを通じて、町民のみなさんの声を直接伺いながら議論を進めてきました。

今後の住民説明の進め方についても提言を行っています。



更地となっている旧本郷第一小学校跡地
中央にあるのがシンボリックツリーのメタセコイア

提言(抜粋)



町長に提言書を渡す議長と副議長



提言



再整備計画



2

町民の声をしっかり反映

住民懇談会やワークショップなどで積み重ねられてきた意見や議論を尊重し、町民の意思として適切に計画へ反映させること。

1

丁寧な説明と十分な周知を

町民のみなさんに対し、計画内容を丁寧に説明し、理解を得られるよう努めること。

住民懇談会に加え、より広く伝わる方法を検討し、特に保護者への説明は時期や回数に配慮すること。

3

メタセコイアの取扱いは慎重に

跡地の象徴であるメタセコイアについては、保存を望む声もあることから、慎重に検討すること。

新たな取り組みがスタート！ よりよいまちづくりのための政務活動費



政務活動費は、議員が調査や研究を行い、よりよい政策づくりにつなげるための経費の一部として交付するものです。町民のみなさんの声や地域の課題を的確に捉え、より実効性のある施策につなげることを目的としています。

本町議会では、条例に基づき1人年額12万円を交付します。なお、平成24年9月に制定した議会基本条例では政務活動費の活用が位置付けられていましたが、これまで執行には至っていませんでした。今回、議会改革の中で必要性を改めて検討し、令和8年3月会議において全会一致で導入を決定しました。

使い道はホームページで収支報告書や領収書を公開し、透明性の確保に努めます（保存期間は5年間）。



議会だよりが 全国コンクールで奨励賞*を受賞!!



受賞を喜ぶ広報広聴常任委員会のメンバーと大竹議長

「会津美里町議会だより第79号(令和7年8月1日発行)」が、町村議会広報全国コンクールの言語・文章部門で奨励賞を受賞しました。

会津美里町議会として初めての受賞です。

全国から331作品の応募がある中、わかりやすく要点をまとめた文章や、専門用語に注釈を付けて解説した点などが評価されました。

審査委員 前田安正 (文章コンサルタント)

審査講評：特集「傍聴を楽しむ」は、住民との距離を縮めようという気持ちが伝わります。傍聴をするときのポイントを写真とイラストを交えて丁寧に説明しています。優しい文章で綴られる記事で、読みやすさを追求しています。議員の自己紹介動画はデジタル展開も見据えた試みです。

横山知世志 広報広聴常任委員長

議会だよりモニターの意見を取り入れて読みやすい紙面づくりに心掛けてきました。今後も、幅広い年代に議会を身近に感じてもらう紙面づくりに努めてまいります。

※奨励賞
今後のさらなる活躍や努力を期待・後押しする意味を込めて贈られる賞

一般質問



一般質問とは・・・

議員が町の行政全般に関し、事務の執行状況や将来の方針等について、執行者（町長・教育長等）に質問できるもの。質問時間は、答弁を除き30分以内。

通告順

1. ^{よこやま}横山 ^{ちよし}知世志…………… P.15

- ・ 選挙投票所見直しと投票率向上
- ・ 町全体であいさつ運動の拡充を

2. ^{あらかわ}荒川 ^{けいち}佳一…………… P.16

- ・ 高齢者福祉は充実しているのか
- ・ 物価高騰対策の継続が必須だ

3. ^{ながみね}長嶺 ^{かすや}一也…………… P.17

- ・ ゼロカーボン宣言後の取り組み？
- ・ 中学校部活動の地域展開

4. ^{むらまつ}村松 ^{なおし}尚…………… P.18

- ・ 部活動環境の考え方
- ・ DCを活用した誘客を
- ・ 郷土資料館の現状

5. ^{ほし}星 ^{やどる}次…………… P.19

- ・ 新総合計画初年度でも事務事業に変更なし
- ・ 観光振興とJR只見線の利活用
- ・ クマやイノシシの被害対策

6. ^{さくらい}櫻井 ^{みきお}幹夫…………… P.20

- ・ 議員のなり手不足問題

7. ^{ふくしま}福島 ^{まさのり}雅典…………… P.21

- ・ 町公式LINEの双方向化

8. ^{しぶい}渋井 ^{きよたか}清隆…………… P.22

- ・ 許可要件の解釈と判断に疑問

9. ^{ねもと}根本 ^{けんいち}謙一…………… P.23

- ・ メタセコイアを残す選択肢も
- ・ 観光振興に専門人材公募を図れ



◀過去の会議録や一般質問の動画はこちらからご覧いただけます。



交通弱者の投票確保の検討を

よこやま ちよし
横山 知世志 議員

録画配信は
こちら



選挙投票所見直しと投票率向上

今般、選挙投票所の見直しをする組織が立ち上がり、その設置について議会にも説明があった。あらためて詳細と投票率向上に向けた取り組みを伺う。

問 その名称と目的は何か。

答 「会津美里町投票区再編検討委員会」の名称であり、町内30投票区における施設環境の違いや投票管理員及び立会人の確保が困難な現状があります。投票所が抱える諸課題を整理、協議するための設置です。

問 組織構成の実態はどうか。

答 学識経験者1名、各地域の自治区長連絡協議会代表3名、町包括支援センター1名、町民生児童委員代表1名、町白ばら会代表1名。ほかに公募委員3名を委嘱しました。

問 投票率向上に向けた課題は何か。

答 再編検討において最も重要な論点と認識しており、再編と投票率の向上は表裏一体と捉え、切り離しては考えられない最大の課題であります。投票区再編の目的や背景が有権者に十分に共有されないままでは、投票行動に心理的・物理的な負担が生じ、様々なリスクによって投票率低下につながりかねないことに強い問題意識を持っています。検討にあたっては再編そのもの以上に、有権者の投票機会を確実に確保することを前提とし、率を維持・向上させる仕組みを強化していき、有権者に丁寧な情報発信もしていくことが重要と認識し、有権者目線に立ち検討を重ねながら取り組んでまいります。



管理は大変だが、地域にとっては大切な近くの投票所

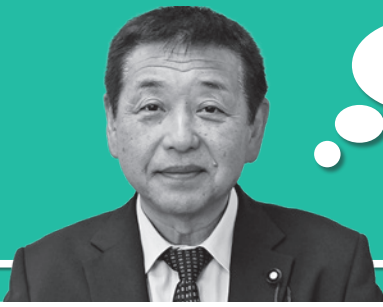
町全体であいさつ運動の拡充を

問 人とのコミュニケーションを図るうえでの基本は挨拶である。近年子供たちの挨拶が減ってきていると感じる。全町民を対象に運動を拡大し、日本一挨拶のできる町を目指していく考え、また小中学校での標語・ポスターを募集する考えはないか伺う。

答 町立学校ではそれぞれ運動に取り組んでおり、校内の状況はほぼ良好であると認識しています。地域社会では子供の安全確保の観点から不用意な対応はしないよう学校、家庭で指導していることで、それが地域では少なくなっている要因と考えます。



春の交通安全街頭指導の様子 元気に「おはよう！」



地域共生社会の実現を目指せ

あらかわ けいいち
荒川 佳一 議員

録画配信は
こちら



高齢者福祉は充実しているのか

問 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療と介護の連携を図り、高齢者福祉のさらなる充実と介護保険事業の安定的運営の目標は達成しているのか。

答 サービス利用者数および事業費総額は高齢者人口の減少に伴い、減少しています。医療と介護の連携は関係機関のネットワーク強化など、限られた社会資源を最大限に活用しています。

問 在宅医療と介護に関する悩み相談窓口の場所など、存在がわかりにくい。どうなっているのか。

答 相談窓口は役場にもありますが、専門的な内容にもなってきますので地域包括支援センターに相談窓口が設置してあります。また、直接自宅へ訪問することも行っています。

問 健康寿命を延ばすことが重要であり、だれもがいつでも集まれる場所の必要性をどのように考えているのか。

答 地域共生社会の核として重要であり、地域の実情に合わせ、集会所等を活用した「集いの場」の活動が住民主体で行われています。

問 町内の空き施設、空き地を有効に活用し、町全体の集いの場を開催することで人が集まり、参加者の励みになるのではないのか。

答 「集いの場」の代表者による交流会が開催され、地域の課題の検討をおこなっています。広い場所や複数の団体がいっしょに活動したいという要望があれば、町からも色々な提案をして対応します。

物価高騰対策の継続が必須だ

問 町は重点支援地方交付金を活用したメニューとして、自治区を対象とした集会施設整備の補助、学校給食の材料費高騰分支援、物価高騰対策じげん商品券、プレミアム付商品券とした基準は何か。

答 現状をよくわかっている事業担当課より、物価高騰が生活に与える影響を緩和し、効果的な支援が確実に実行されることを重視しました。

問 じげん商品券については重要であり評価している。このように生活者支援を行うことで、どのような効果があると考えているのか。

答 国が力を入れている重点支援地方交付金は、食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者・事業者が対象となっています。商品券を配付して食料品等を購入することで物価高騰対策になると判断しました。

問 町民の暮らしや生活を守るため、継続支援が必要と考える。町として引き続き予算化する考えはあるのか。

答 国や県からの十分な財源措置が必要であり、今後の国・県の動向を踏まえ、検討し町民が望むことも含め、良く選定をしていきます。



送付された物価高騰対策じげん商品券



ゼロカーボン推進には
町民全員の実践必須

ながみね かずや
長嶺 一也 議員

録画配信は
こちら



ゼロカーボン宣言後の取り組み?

問 令和6年2月28日付け宣言後、これまで2年間の取り組みは。

答 宣言に基づく取り組みを継続して取り組んでいます。温室効果ガス排出量や森林等によるCO₂吸収量の実態などを把握しながら「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に取り組みました。本町のごみ排出量やリサイクル率ともに、県平均より上位ではあるものの、国平均以下であります。このようなことから、適正な循環型社会実現基本方針として、「ごみ処理基本計画」を定めました。

問 ごみ減量に向けた町民に対する継続した働きかけは。

答 ごみ分別の徹底はもとより生ごみの水切りはごみ減量に直結しますので、「3切り運動」※を継続して働きかけるとともに、生ごみ処理機購入等を支援しています。

問 町ぐるみでごみ減量に取り組むに当たり、自治区長に対する啓発は。

答 毎年自治区長会総会において、生活系一般廃棄物排出量の現状を説明するとともに、地区内のごみ減量化協力を依頼しています。また、ごみ分別や減量化に係る出前講座を開催しごみの適正排出に取り組んでいます。

問 関東圏自治体等とのJ-クレジット※による連携は。

答 本町の現状では、温室効果ガスの自らの削減実績にはつながらない状況にあります。町民・事業者・行政が連携・協働し、宣言の実現を優先に取り組めます。

問 小中学校での教育指導は。

答 宣言に基づき、節水・節電など資源の有効利用やごみ再資源化や環境問題への実践力を身に付く指導をしています。



新環境センターの健全稼働のため、ごみの減量と分別

中学校部活動の地域展開

問 地域展開に向けた受け皿となる環境づくりとは。

答 地域展開を実施する団体が動き出しています。今後は、既存団体や社会教育団体と協議しながら、地域展開の受け皿となる環境づくりに取り組みます。

問 地域クラブ活動実施遅延の懸念。

答 既に方針を策定し、地域展開に取り組んでおり、改革実行期間（令和13年度）内に完了できるよう環境を整備します。

問 誰もが地域クラブ活動に参加できる体制整備と生徒への周知は。

答 生徒の送迎等は保護者の協力を引き続きお願いする考えです。生徒への周知は、中学校入学段階などのタイミングで地域展開の概要を文書や説明会で保護者と併せて行っています。

問 中体連大会参加や芸術文化活動の発表の機会確保は。

答 これまで学校単位であったものが、合同チームやクラブチームでも参加できる対応が講じられつつあり、大会やコンクールへの参加機会は確保されていくものと考えています。

最後に引き続き地域展開をチェックしていきます。

※3切り運動「ごみを捨てるときに水をきる」「水きり」、買った食材を使いきる「使いきり」、食べ残しをしない「食べきり」のこと
※J-クレジット「省エネ設備導入や森林管理などでCO₂等の吸排出量を「クレジット」として国が認証し、企業や自治体などに売却できる

物価高騰の影響は多方面に

録画配信は
こちら



むらまつ **村松** なおし **尚** 議員

部活動環境の考え方

問 旧本郷中学校敷地の校庭は一部、教職員駐車場に利用されている。真剣に部活動に取り組むためにも、バックネット修繕や駐車場等の早急な対策が必要と考えるが。

答 野球部は校庭南東部で活動をしており、駐車場に配慮した練習を行っておりますので、現在まで打球による自動車破損事案はありません。今後バックネットの修繕等周辺整備を進め、校庭の改修も含め、安全な練習環境を検討していきます。

問 周辺整備と改修の検討内容とは。

答 バックネットは女子ソフトボール用の低いものであり周辺の住宅や車両に飛んでいく危険性があります。今後は高田中に導入したバッティングゲージ等を検討しています。

問 物価高騰から部活動用品も高騰している。部活動単位で保護者会を立ち上げ費用を補填している部もあるが、町の支援の考えは。

答 部活動運営や大会に係る経費が保護者負担に依存している事は認識している。一方で、学校の部活動に限らず、地域クラブ等で活動する生徒も増えている。公平性の観点から、平等な支援は困難であるが、今後は部活動の地域展開を含め、可能な支援を研究してまいります。

DCを活用した誘客を

問 ふくしまDC※はパッケージ内容次第で大きな観光誘客に繋がる。DC期間中、当町は観光パッケージを考えているのか。

答 伊佐須美神社での御涼風鈴や会津本郷焼の窯元巡り等の着地型ツアー、本町の日

本酒と食材を楽しむガストロノミー※体験等の高付加価値なプランを提案しております。

問 観光パンフレットの配布はどのようにしているのか。

答 県内外の高速道路のSA、道の駅、JRの主要駅の他、首都圏の観光イベント等で配布しています。

問 東山温泉や若松市内のビジネスホテル等にパンフレット設置等も必要と考えるが。

答 ビジネスホテルは難しいかもしれませんが、温泉宿に対しては設置に向け交渉していきます。

問 期間中の観光入込客数の見込みは。

答 前年のプレDCの実績を上回る70万人を見込んでいます。



伊佐須美神社でも様々なイベントが開催される。

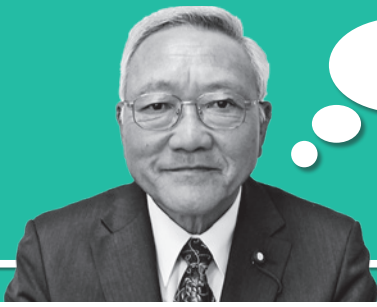
郷土資料館の現状

問 昨年は新鶴ワインフェス等で来館者が増加したと考える。観光誘客施設の側面も考慮すれば来館者増加に向けた取り組みは。

答 郷土資料館を起点とした観光周遊の案内、情報発信や郷土資料館イベントの充実等、観光誘客に貢献してまいります。

※ふくしまDC
※ガストロノミー

福島県全域で開催されるJRグループと地域一体型の大型観光キャンペーンの略称
美味しい食事だけでなく、土地の歴史、文化、食材の物語、持続可能性を五感で満喫する旅の形



町民が幸福を感じられる
町政運営を実施して欲しい

ほし やどる
星 次 議員

録画配信は
こちら



新総合計画初年度でも事務事業に変更なし

問 令和8年度施政方針と予算編成は、最重要課題である人口減少対策を戦略的・重点的に推進するとしているが、第3次総合計画の取り組みと反省評価を踏まえ、どのように実施するのか。

答 毎年度、各施策の達成度や満足度について総合的に評価を行いました。しかしながら、人口減少に歯止めがかかっていない実態が明らかになりました。第4次総合計画では、「緩和策」*と「適応策」*を両輪とする取り組みを進めます。

問 事務事業の検証・評価をどのように反映したのか。

答 事務事業の目的達成状況の評価結果を踏まえ、効率性・有効性の観点から、事務事業の再整理・再構築を行い、8年度予算編成に反映しました。

問 人口流出を防ぐために「若者や女性」が住みたいまちづくりの予算を確保し、どの事業に反映したのか。

答 予算は優先的かつ重点的に配分しました。産業振興やまちなか賑わい創出などの事業を通じ、若者世代や女性にとって魅力のある雇用や活躍の場を創出し、「住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりを進めます。

観光振興とJR只見線の利活用

問 ふくしまDCに対して、本町は観光誘客と交流人口の増加をどのように図るのか。

答 従来のイベントに加えて、本町日本酒蔵元飲み比べ事業などを計画し、本町の魅力発信に努めます。

問 プレDCの課題検証と評価はどのようにしたのか。

答 来訪者アンケート結果から、二次交通の利便性向上と多言語による情報発信の不足があり、現在、観光協会や各事業者と連携し、受け入れ態勢の充実に努めています。

問 JR只見線再開後の観光誘客事業をどのように実施してきたのか。また、乗降者数を増やす方策を示せ。

答 観光列車への観光ガイド派遣や職員が同乗したPR活動、ノベルティ配布などを実施しました。また、乗降者を増やす方策として、デマンド交通の観光利用促進やSNS等で積極的に発信し、乗降者数の増加を図ります。

クマやイノシシの被害対策

問 令和8年度の被害対策とドローンの活用はどのように考えているのか。

答 緩衝帯の整備や電気柵設置に対し、引き続き支援するとともに、集落ぐるみの対策を推進します。また、放任果樹の伐採に対する補助金制度を検討していきます。ドローンの活用は有効であるので、活用方法などを含め調査検討します。



ドローン活用を早期に実施し、被害の未然防止に期待する。

※緩和策
※適応策

人口減少を可能な限り抑制する施策
人口減少下でも持続可能な地域づくりを進める施策



新たな考えが
これからのまちづくりには必要

さくらい みきお
櫻井 幹夫 議員

録画配信は
こちら



議員のなり手不足問題

問 令和8年2月8日投開票の衆議院選挙の際、ポスター掲示場の設置個所が大幅に減じられ62か所だった。昨年の会津美里町議会議員選挙の際は123か所であった。それぞれの数の根拠を伺う。

答 公職選挙法に基づく本町における法定設置数は203か所ですが、生活動線の変化、設置場所の管理・安全上の課題を踏まえ、実効性の観点から80か所を減じ、123か所としました。また、今回の衆議院選挙では降積雪による看板場の破損、倒壊リスク、維持管理の困難さを考慮した上で、県選挙管理委員会と協議して決定しました。

問 他の選挙においても、もっと数を減らしてもよいのではないかと。

答 ポスター掲示場は、公平公正な選挙活動の保障と候補者の情報を得るための重要な役割を担うものですので、今後も実効性の観点から必要数を設置します。

問 ポスターでは十分な情報を得ることはできない。町ホームページ等で候補者の紹介や出馬に向けた公約等をアップしてはどうか。

答 選挙公報を新聞折り込みにより配布しています。また、町ホームページに選挙公報を掲載しています。

問 町議会の議員側では、議員のなり手不足の解消に向け検討を始めた。町もこの問題を共に考える必要があるのではないかと。

答 選挙管理委員会は中立的な機関のため、選挙の中立性に影響を及ぼすおそれがありますので、答弁は差し控えさせていただきます。

問 議員のなり手不足解消には、女性議員が増えることが重要と考える。しかし、本町では女性の社会進出が進んでいない。町としてもっと女性管理職を登用するなどの環境整備が必要ではないかと。

答 新年度の人事でも、これまで以上の女性管理職が登用されており、町は十分に対応しています。

問 働きながら（兼業・副業）議員活動にあたる人材を増やすことも、なり手不足解消には必要と考える。その場合、土日や夜間の議会開催は可能か。

答 これまでも、土日・夜間の議会開催は行ってきており対応は可能と考えます。



無投票では…（涙）女性候補を増やすためには…！？



双方向化で、
つながりの強化と利便性の向上

ふくしま
福島 まさのり
雅典 議員

録画配信は
こちら



町公式LINEの双方向化

問 現在、道路や公園遊具などの不具合について、電話や口頭だけでなく、「現場の写真」や「正確な位置情報」を添えて、即時に共有・蓄積できる仕組みは整っているのか。

答 現時点では、写真や位置情報を即時に共有・蓄積できる仕組みは整備されていません。

問 町公式LINE等を活用し、通報内容を地図上で可視化する仕組みを検討していると承知している。一方で「なぜ一方通行なのか」との声もある。高齢者でも使いやすい操作性の確保と、情報提供を漏らさず受け止める周知・サポート体制について町の考えを伺う。

答 誰もが迷わず利用できる設計を重視しています。運用開始時には、広報紙やホームページで周知します。

問 町民から寄せられた情報が地図上で共有され、修繕の進捗が更新されることは、一つの「対話」の形であると考えて。行政効率の向上だけでなく、町民の郷土愛の醸成にもつながると考えるが、町の見解を伺う。

答 町民が課題を直接届け、その結果が見えることで、主体的な関わりや郷土愛の醸成につながると考えています。

問 高齢者やスマホ操作が苦手な方でも使いやすい仕組みづくりについて、そうした方々の意見やフィードバックは取り入れているのか。

答 高齢者でも使いやすい仕組みを構築します。操作が不慣れな方には、スマホ教室などで支援します。

問 町民の声が町の改善につながったと実感できるよう、修繕完了後に感謝メッセージを自動送信する仕組みは検討されているのか。

答 まずは「受付」「修繕中」「完了」を地図上で見える化します。感謝メッセージの送信は今後検討します。

問 早期に双方向化を進め、町のLINEを通じて本町の情報を全国へ発信していくとともに、町民アンケートや高齢者の見守りなどにも活用できるのではないかと考えるが、見解を伺う。

答 LINEは重要な情報発信ツールと認識しています。一方で、対応体制などの課題もあるため、全庁的に整理し適切な運用を検討します。



町公式LINE
の登録はこちら
から！

町公式LINE

※町公式LINE

町が行政情報の発信や各種案内を行うために運用しているLINE(無料通信アプリ)の公式アカウント

委託を受けていない者の
事業結合・統合では

録画配信は
こちら



しづい きよたか
渋井 清隆 議員

許可要件の解釈と判断に疑問

問 本町は、ごみ減量化・資源化を進めるため毎年一般廃棄物処理実施計画を定めている。そこで、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条第1項には、「一般廃棄物収集又は運搬を業として行おうとする者は、当該事業を行おうとする区域（運搬のみを業として行う場合にあつては、一般廃棄物の積卸しを行う区域に限る。）を管轄する市町村長の許可を受けなければならない。ただし、事業者（自らその一般廃棄物を運搬する場合に限る。）以下省略・・・その他環境省令で定めるものについては、この限りではない。」と述べられている。それを根拠に本町は、生活系・事業系の一般廃棄物収集運搬の許可を一括して会津美里町一般廃棄物協業組合に与えているが、これは、「組合を構成する組合員が許可を受けていれば、許可が必要な事業を組合として受けることが可能になる前提要件である。」それを踏まえ生活系一般廃棄物について協業組合に委託している。ところで、協業組合の設立要件は、「要約すると組合員になろうとする者

4人以上が、それぞれの事業所を残したまま発起人となって、特定分野で専門的な能力を持つ者同士が共に事業を行う組織（人的・物的結合体）である。」又協業とは、「従来から営んでいた事業の統合である。」町は、どのような法と根拠に基づき組合員の許可を不要と解釈判断されているのか具体的に伺う。

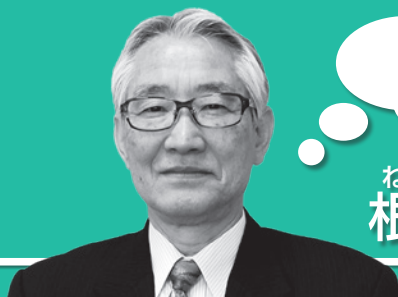
答 会津美里町一般廃棄物協業組合は、中小企業団体の組織に関する法律第5条の17の規定に基づき、福島県知事の認可を受け、平成20年1月に設立した法人であります。設立当初は、生活系ごみの収集運搬業を協業組合、事業系ごみについては、協業組合員4社各々が協業組合と、その組合員それぞれが本町の一般廃棄物収集運搬要件の許可を取得していました。平成28年度からは、協業組合として本町における生活系ごみ、事業系ごみの両方を収集運搬することを決定し、実施しているところであり、組合員4社は中小企業団体の法律第5条の8に規定する協業の禁止規定に基づき、生活系及び事業系ごみの収集運搬事業を一切行わないこととしたところです。



家庭系ごみ集積所



事業系ごみ収集の様子



地域それぞれの思いをつなげ、
大事にしたい

ねもと けんいち
根本 謙一 議員

録画配信は
こちら



メタセコイアを残す選択肢も

問 日本郷第一小学校跡地基本計画見直しについては、4年間の町民参画、自治意識醸成に資する取り組みから考え「何を今さら」と思う反面、公園化概算工事費約15億円の巨額さから町民の懸念の声と本郷こども園改築場所との要望もあつての町長としての総合的判断を尊重したい。その新構想はどのように描いているのか。

答 三つの利活用理念※を前提に本郷こども園及び子育て支援センター、公園施設更には駐車場増設を包含する一体的な空間として再構築し、「人が集い、世代が交わり、町が息づく場」を創出し、地域の未来を支える拠点とする構想です。

問 今後のスケジュールはどのようになるのか。

答 今までの議論の到達点としての本整備計画で、今後、関係機関や各種委員会等への丁寧な説明と共に、町民懇談会において更に意見交換を重ねながら、一体的な拠点整備として令和13年度開園を目指していきます。

問 これまでの年間予算総額と住民との協議総時間を示した上で、どのような認識か。

答 令和4年度以降の業務委託等で約4,670万円、町民ワークショップ、会議、実証実験で約148時間となっており、地域の将来を真

剣に考えていただいた貴重な積み重ねであり重く受け止めています。

今後も、議論の成果を尊重しつつ町民参画の枠組みは継続し、整備内容や機能の整理について改めて整備方針を策定していきます。

問 本郷こども園と公園化の概算工事費合計が約27億円から、一体的整備方針の新構想による概算工事費粗積算では約15億円となるが財政上は大丈夫か。

答 概算で10億円ほど軽減される。補助金や有利な起債充当により負担軽減を考えながら開園に向けて行けると判断しています。

問 跡地のシンボルであるメタセコイアを残すためのゾーニングとレイアウトを専門家に相談しつつ選択肢の一つとして作れないか。

答 今後、基本設計策定の中で今の意見や町民の思いを伝えながら、施設の安全性の担保確保しつつ判断していくことになると思います。

観光振興に専門人材公募を図れ

問 町第1次観光振興計画の総括はどうか。

答 本町を訪れるツアー参加者は増加したものの、その多くは通過型であり、滞在時間の延長には繋がりませんでした。他多くの反省点を踏まえて第2次計画を実施していきます。

問 枢要な専門スキル保持者、プロデューサー的人材確保、公募を急ぐべきでないか。

答 首都圏から「地域プロジェクトマネージャー」の導入を検討しており、令和8年度に公募、令和9年度には雇用に努めていきたいと考えています。



今の跡地全景
跡地のメタセコイアは50年いつも皆を見守っている

※跡地利活用3つの理念

賑わいを創出でき、コミュニティを形成でき、子どもが自由に遊べる場所

視察研修 報告

先進地に学び、まちづくりに活かします！

議会では、町が抱える課題の解決に向けて、先進的な取り組みを行っている自治体（議会）を視察し、今後の議会活動の参考とするとともに、政策提言や施策の改善につなげていきます。

視察先
1か所目

宮城県美里町議会

視察日

1月29日

下記の3点について学びました！

テーマ1

地方議員のなり手不足

視察地の取り組み

- ・子ども議会の実施
- ・夜間議会の開催
- ・視察研修

本町との違い

いくつもの取り組みが継続的に行われている。

学びと今後の活用

本町はなり手不足への問題意識が薄い。行政や住民を巻き込んだ様々な取り組みが必要。

テーマ2

議員報酬と費用弁償

視察地の取り組み

- ・議員報酬を増額(R4.1月)
- ・費用弁償を増額(R4.1月)

本町との違い

議員報酬の増額をなり手不足解消に向けた重要な取り組みとして積極的に取り組んでいる。

学びと今後の活用

本町では議員報酬が低額なために出馬を見送る若者がいると聞くことから、早期に増額に向けた検討を進める。

テーマ3

執行部への政策提言

視察地の取り組み

- ・2年間しっかりと調査研究をしたうえで政策提言書を作成

本町との違い

本町は、一度の視察で委員からの報告書をもとに政策提言書にまとめ提出している。

学びと今後の活用

現状では、提言内容が浅く課題解決まで結び付かない。美里町に習いもっと深い調査研究を目指す。

視察先
2か所目

宮城県栗原市議会

視察日

1月30日

ペーパーレス(タブレット)会議について学びました！

視察地の取り組み

- ・令和7年2月会議からタブレット導入
- ・資料を印刷して配布
- ・パソコン、スマホの議場持ち込み可

本町との違い

- ・本町では令和7年9月会議からタブレット導入
- ・本町では資料の配布はしていない(一部を除く)
- ・本町ではタブレット以外の機器の持ち込み不可

学びと今後の活用

- ・パソコン、スマホを持ち込むことでより多くの情報を活用できることから、本町においてもタブレット以外の情報機器の持ち込みを検討する。

おわりに(総評)

美里町は本町と友好都市であることから、フレンドリーで内容の濃い意見交換となった。議員のなり手不足問題については、議会を知っていただくために町民向けに研修を行うなど参考になる内容であった。栗原市の議場へのパソコン持ち込みを含め、今後、当町議会の参考にしたい。



宮城県柴田町議会

1月26日

柴田町議会の皆さんが、「議会だよりモニター制度」を学ぶため来町しました。

柴田町では制度導入を検討していることから、導入の経緯や仕組み、対象者・人数・任期などを説明しました。あわせて、アンケート回答や会議参加といったモニターの役割も共有。さらに、寄せられた意見をもとに紙面を改善してきた取り組みについても紹介しました。



2月3日

猪苗代町議会



猪苗代町議会の皆さんが、「議員としゃべろうミサトーク!!」の取り組みを学ぶため来町しました。

猪苗代町でも意見交換会を実施していますが、参加者の少なさが課題で、今回の視察となりました。当議会では参加しやすさを重視し、親しみやすい名称への変更など工夫を重ねています。さらに令和6年度からは高校生との意見交換会も開始し、若い世代の声を直接聞き、議会への関心向上につなげています。



湯川村議会

4月24日

湯川村議会の皆さんが、「会津美里町議会ハラスメント防止条例」を学ぶために来町しました。

湯川村議会では、令和8年6月定例会でハラスメント防止条例の制定に向けて進めています。当町の条例制定までの流れや制定後の反響や、条例制定後のハラスメント防止の意識の向上、抑止力の高まりについて説明しました。



4月28日

茨城県行方市



行方市議会の皆さんが、「議会だより」を学ぶために来町しました。広報は、住民の皆さんに議会の活動を知ってもらうための重要なツールです。まず、目を通してもらうためには、どのような工夫が必要か意見交換を行いました。

そのほか、「モニター制度」や「意見交換会」、「議会の傍聴の周知方法」等についても紹介し、実施する上での利点や課題を共有しました。



議会だより

わかりやすい
紙面づくりを目指します

モニター会議を開催しました



3名のモニター(前列中央3名)にご出席いただきました。

1月22日、議会だよりモニター会議を開催し、モニターの皆さんと広報広聴常任委員と議長で意見交換を行いました。行政視察報告記事では、視察先の選定理由や目的、そして、今後どのように生かしていくのか、しっかり書いて欲しいなどの意見が出されました。読みやすく、わかりやすい紙面づくりに努めてまいります。モニターの皆さん1年間ありがとうございました。

令和
8年度

議会だよりモニターの メンバーを紹介します!

よりよい議会だより作成のため、ご意見をいただきます。



りゅうかわ けんいち
龍川 健一さん (高田)

町民の一人として、親しみやすい議会だよりづくりに少しでも力になればと思います。

再



おおとも みどり
大友 緑さん (本郷)

昨年の経験を活かしながら、より読者目線を大切に、さらに親しみやすく伝わりやすい議会だよりになるよう意見を届けていきたいです。



おがわ ひろみつ
小川 博光さん (高田)

議会だよりが町民の皆様にとって、より身近なものになるようにお手伝いできればと思います。



さとう しんいち
佐藤 真一さん (高田)

東京と会津の二拠点生活をしています。複眼での有意義な発信に努めていきたいと思っています。



えんどう みらみ
遠藤 陽さん (新鶴)

モニターとして町議会の魅力や取り組みをPRしていきたいです。よろしくをお願いします。



たかやま みつひろ
高山 光弘さん (新鶴)

議会だよりは毎号読んでおります。町の様々な課題にどのように取り組み、解決していくのかを注視しています。

新メンバーのみなさん、1年間よろしくお願いします!

今年も
やります!

議員としゃべろう!

ミサトーク!!! 2026

“議会”って少しかたい
イメージありませんか?

ミサトークは、町民の皆さんと議員が、
ざっくばらんに話せる意見交換会です。

話すだけ
でもOK!!

聞くだけ
でもOK!!



お気軽にご参加ください!



もっと
こうなったら
いいな



実は
困っている
ことがある



若い世代の
声も届けたい

そんな思いを、ぜひ、**直に**聞かせてください。

“これからの会津美里町”を一緒に語り合しましょう。

3か所で開催しますのでご都合の良い日程にご参加ください。

高田会場

6月18日(木) 18:30~

本庁舎1階
じげんホール

新鶴会場

6月19日(金) 18:30~

新鶴地域づくりセンター
大集会室

本郷会場


6月20日(土) 14:00~

本郷地域づくりセンター
2階 研修室A・B

申込不要

 途中参加OK

 出入り自由

 お子さま連れOK

 高校生の
参加も大歓迎!

事前
告知!!

町民の皆さんにもご参加いただける

会津西陵高校とのコラボ意見交換会も企画中!

詳細は次回の議会だよりでお知らせします。

8月27日(木)
開催予定!

みさとを支える

仕事を通して町民の生活を支える人たちが議員が取材！ Vol.2

会津若松警察署 会津美里分庁舎

警察の役割 住民の皆さんが事件や事故の被害にあわないよう、日々、管内をパトロールし、交通指導や取り締りを行っています。また、警察官が各家庭を訪問したりして直接犯罪被害等にあわないために注意すべきことなどを伝えたりしています。

お願い 最近、SNS等で警察官をかたってお金等をだまし取る詐欺被害が増えています。警察官がSNS等で取り調べをしたり、お金等を要求したりすることは絶対にありません。

ニセ警察官に十分に注意してください。何かありましたら、すぐに会津美里分庁舎にいる“本物の警察官”にご連絡ください。



お仕事に目線をいただきました！

会津美里分庁舎警察署員にインタビュー

気分転換方法や大切な時間について教えてください。

答 趣味の時間や家族と過ごす時間が一番の気分転換になります。仕事仲間とのコミュニケーションも仕事のモチベーションを維持する上で大切です。

問地域の皆さんとの印象に残っている出来事はなんですか。

答 パトカーでパトロールしていると、小さなお子さんに手を振ってもらったりすることがあり、元気の源になっています。また、事件が解決したときに感謝をいただきますが、頑張った甲斐があったと仕事の疲れも吹き飛びます。



齋藤巡査(左)・白石所長(右)

議会を傍聴してみよう！ 定例会6月会議は、 6月1日(月)再開です。

詳しい日程と一般質問質疑事項については、本庁舎及び各地域づくりセンターに掲示するとともに、町ホームページに掲載しています。

■傍聴場所 本庁舎2階議場傍聴席 (35席)
受付票への記入のみでどなたでも傍聴いただけます。(事前連絡は不要です。)

■ライブ中継 本庁舎2階フリースペース
宮川・本郷・新鶴地域づくりセンター



シリーズ「みさとを支える」Vol.2は会津美里分庁舎へ行ってきました。お忙しい中、ご対応いただきありがとうございます！
表紙は目を引く構図や写真を意識し、インタビューでは、活動内容を年代を問わず、わかりやすく伝えられるよう努めました。
今後も、わかりやすく楽しんで読んでいただける議会だより作成を目指してまいります。
福島 雅典・荒川 佳一

発行責任者	議長	大竹 惣	委員	福島 雅典	委員	長嶺 一也
広報広聴 常任委員会	委員長	横山知世志	委員	荒川 佳一	委員	渋井 清隆
	副委員長	阿部雄一郎				